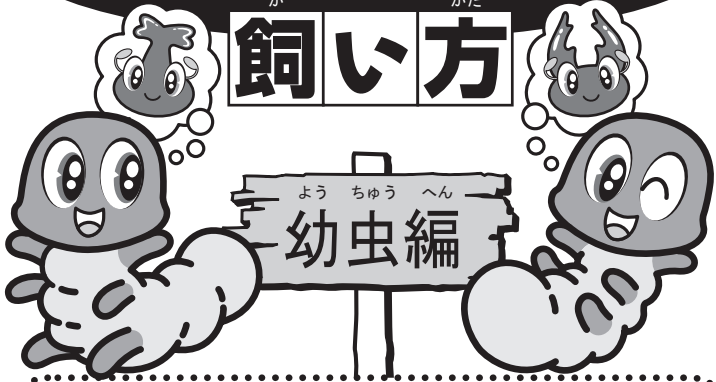




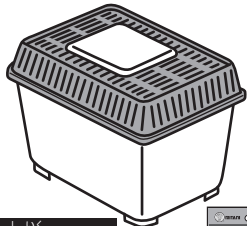
カブト虫・クワガタ虫の

飼い方

幼虫編



用意するもの



飼育ケース

飼育マット



くぬぎマット



発酵マット



ディフェンスシート



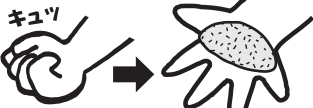
朽木



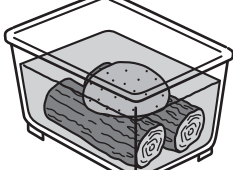
保水液

くぬぎマットと朽木の準備

幼虫は、くぬぎマットや朽木を食べて育ちます。くぬぎマットと朽木は、適度な水分を含ませてから使用します。

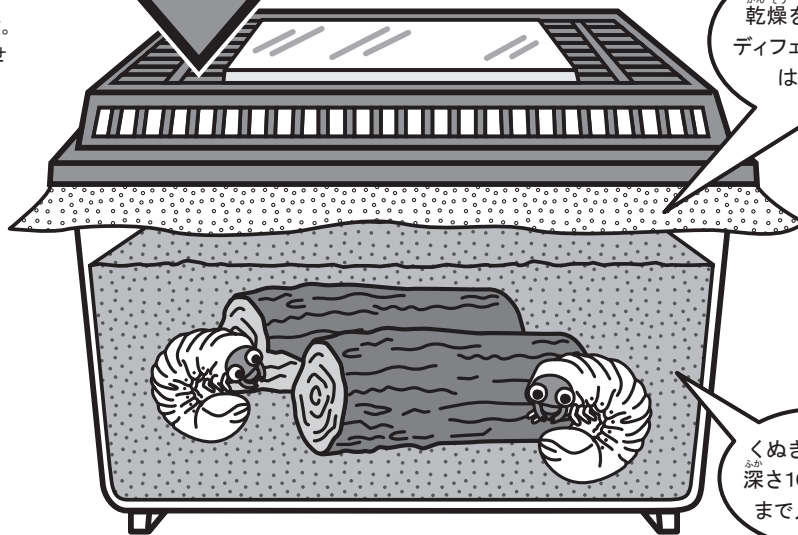


マットの水分は、軽く握って手を開いたときに形がくずれずに残っているくらいがベスト。



朽木は1~2時間水につけて、中まで十分に水分を含ませます。

セット例



乾燥を抑えるためディフェンスシートをはさみます

注意

カブト虫とクワガタ虫の幼虫をいっしょのケースで飼うことはできません。また、カブト虫の幼虫は、大きなケースなら数匹飼えますが、クワガタ虫は幼虫どうしでケンカをするので、1匹ずつ飼育するようにしましょう。



カブト バイ、バイ

クワガタ

くぬぎマットを深さ10~20cmまで入れます

見かけは似ているけど、生活のしかたが違います。

飼育のポイント

直射日光に当てない

ケースは直射日光や雨の当たらない、温度変化の少ないところに置きましょう。冬場の暖房のあった部屋は暑すぎ、また氷の張るような場所では寒すぎです。



直射日光 暑さ



雨・雪 寒さ

水分補給

飼育マットが乾きすぎないように、ときどき適度に水分を与えてください。



保水液などで水分補給!!

エサはたっぷり用意しておく

カブト虫の幼虫は、マットをたくさん食べます。マットに丸いフンが目立ってきたら、フンの部分を取り除いて、新しいマットを補充してください。



もう食べるころがないよ~

素手で幼虫にさわらない

幼虫にさわるときには、虫スプーン等でさくようにするか、手袋などをつけてさわるようにしましょう。素手でさわると、手についている雑菌が原因で、幼虫が死亡することがあります。



落とさないでね

よりくわしい飼い方は、専門書等を参照してください。